

NEXT

ネクスト ステージ

Saitama City
Support Magazine



(公財)さいたま市
産業創造財団

さいたま市の中小企業と創業する方のための支援センター

2017年

No.32



発展する企業は
社員のパワーを結集する
事業は人なり!



NEXT STAGE No.32

特集 事業は人なり！

発展する企業は社員のパワーを結集する

CONTENTS

平成28年度 活動報告①

- さいたま市ニュービジネス大賞2016
- BIZ SAITAMA2016

P3

● 支援先企業紹介 ●



株式会社 タイネツ

代表取締役 山崎 智生 氏

●支援メニュー：専門家派遣

人材確保のための就業規則作りと
職場環境改善の取組み

P4



株式会社 サンテック

代表取締役 板垣 幸一 氏

●支援メニュー：BIZ SAITAMA

高い技術力で社会に貢献できる
人材採用と育成に取り組む

P6



清香 株式会社 (つるやクリーニング)

代表取締役 榎本 香代子 氏

●支援メニュー：さいたま市ニュービジネス大賞

「きれい」を形にして再生する」をミッション
に掲げる4代目社長の新たな挑戦

P8



株式会社 東 玉 (とうぎよく)

取締役副社長 戸塚 大介 氏

●支援メニュー：さいたまベンチャー社長塾

江戸時代からの伝統を
継承している人形づくり

P10



株式会社 イワセ薬品

代表取締役 岩瀬 修一 氏

●支援メニュー：金融機関連携成長支援事業

置き薬の魅力は
人間味のある交流から

P12



株式会社 木下製館

代表取締役 木下 信次 氏

●支援メニュー：ワークジョイさいたま

手厚い福利厚生が
社員の定着・採用に有益

P14

平成28年度 活動報告②

ワークジョイさいたま

P16

平成28年度 活動報告①

さいたま市ニュービジネス大賞2016

「さいたま市ニュービジネス大賞2016」のグランプリ・各部門賞が決定しました。

今回が12回目となる「さいたま市ニュービジネス大賞」は、さいたま市の経済が活性化するような新事業を発掘するビジネスプランコンテストです。昨年度に引き続き100件を超えるエントリーの中から最終選考会に残った14件(一般部門コース10件、学生起業賞コース4件)のビジネスプランについて、ファイナリストによる熱いプレゼンテーションが繰り広げられ、グランプリを含む各部門賞が決定しました。

グランプリおよび各部門賞のビジネスプランは次のとおりです。

グランプリ／コミュニティビジネス賞 榎本 健司 氏／さいたま榎本農園

プラン名：スイーツ専用ミニトマトを使った新食感スイーツの商品展開

ビジネスプラン賞 熊田 雅好 氏／株式会社でんでん

プラン名：『盆栽無添加餃子』による郷土愛逆転の為の盆栽ブランドの確立と地域活性化の促進

ものづくりスター賞 太田 耕二 氏／株式会社サントタイプ

プラン名：光触媒チタンアパタイト配合塗料を利用した光抗菌消臭天然石壁紙

女性起業賞 田中 綾華 氏／Flowery株式会社

プラン名：食べられる薔薇で世界中の人を美しく、健康に、幸せに

審査員特別賞 加藤 智江 氏／株式会社ドラEVER

プラン名：運転職の面白さ×価値を伝えるドライバー求人サイト「ドラEVER」

学生起業賞 渋谷 喜考 氏／芝浦工業大学修士1年

プラン名：ピクチュウ(ピクチャーで農業害虫の写真判別アプリ)



▲ファイナリストによるプレゼンテーション



▲さいたま市長と受賞者との対談

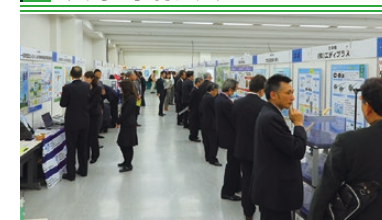
BIZ SAITAMA2016

ビジネスマッチングイベント「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展 2016」が開催されました。

「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展 2016」は、さいたま市の重点施策(医療・ヘルスケア、環境・新エネルギー、防災)に沿った技術ニーズと、解決に寄与するシーズを広く募集し、年間を通じたビジネスマッチングを実施するものです。100件を超える技術ニーズに対し、参加企業125社から様々な技術提案がなされ、実に400件以上もの商談が実施されました。

2016年度の開催結果は次のとおりです。

1 展示・商談会



▲展示ブースを訪れる来場者

- 技術ニーズ提示企業数 (51社)
- 展示商談会参加企業数 (125社)
- 来場者数 (547名)
- 商談件数 (441件) (12月8日現在)

2 認証式・表彰式



▲さいたま市長と認証・表彰企業

- さいたま市CSRチャレンジ企業認証式 (17社)
- さいたま市リーディングエッジ企業認証式 (10社)
- さいたま市ニュービジネス大賞表彰式 (6社)

3 ビジネス交流会



▲参加企業同士の交流

- 参加者 (125名)

人材確保のための就業規則作りと職場環境改善の取組み

株式会社 タイネツ

代表取締役 山崎 智生 氏

工場の装置などに用いられる送風機の受注生産と機械加工を事業の柱とする株式会社タイネツ。人材確保という課題を抱えていた同社は、専門家派遣制度を利用し就業規則作成に取り組んでいます。「社会に貢献する製品を造ることで 喜びのある職場Tainetsu」というコンセプトを掲げ、納得できる条件で長く働いてほしい、と願う山崎社長の思いを伺いました。



特殊な使用環境に耐えうる送風機のスペシャリスト

当社は1919年、曾祖父が川口で金属の切削加工を行う山崎製作所を創業したのが始まりです。お客様のご要望により金属熱処理設備用耐熱ファンの研究開発・製作を行うようになり、1975年に父が独立して耐熱送風機の会社を設立。その2社が1996年に合併し現在の社名になりました。事業の割合は、送風機部門が約7割、機械加工部門が約3割となっています。

送風機は、工場設備の熱処理で攪拌ファン・循環ファンなどに用いられるものが中心で、お客様のご要望に応じて設計、製作をするオーダーメイド制です。たとえば業務用オープン内や腐食性のあるガスの中で風を起こすなど、高温、腐食、真空といった既存品では対応できない使用環境に耐えうる製品が得意です。規格外のものばかりでリスクが大きいのですが、難しい案件をこなすことで経験値が高まり、財産や次の糧になると考えチャレンジしています。

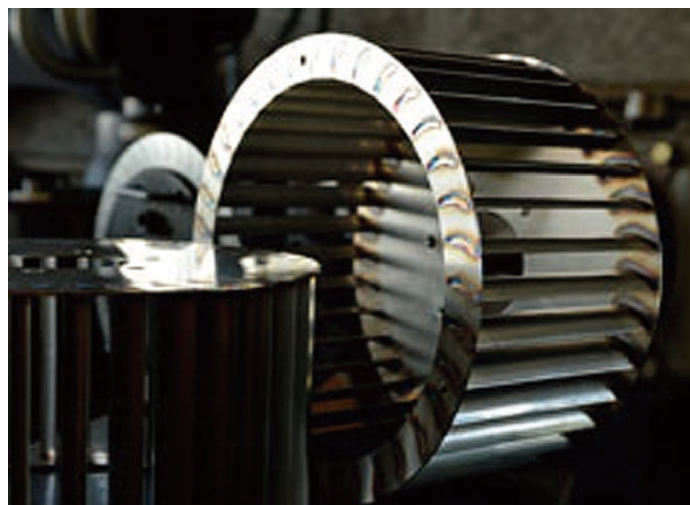


加工部門は3次元CAD/CAMデータを使用し、工作機械CNC複合旋盤にて切削を行い、CNC3次元測定器にて検査します。特殊形状や特殊材質にも対応できます。

これからの人材確保と定着に向けて

創業して100年近く経ちますが、これからも長く続けていくには人材の確保と定着が課題です。まずは健全性を示すために、2015年度にさいたま市CSRチャレンジ企業の認証を受けました。そして名実ともに従業員が安心して長く働ける職場にすべく、専門家派遣を利用して社会保険労務士を派遣していただき、就業規則を作成することにしました。これまではハローワークに求人を出しても、求人票のフォーマットの関係で採用条件を思うように伝えられず、応募者の認識にズレが生じることがありました。就業規則ができて求人票の表記は変わりませんが、面接時に条件を明示できるようになります。

工場では3S（整理・整頓・清掃）活動を行い、働きやす



い職場作りを進めています。以前は、工作機械の種類が多く、それぞれの機械の担当者が不在のときは稼働させられないという問題があったため、作業効率を考えて種類を絞りました。チームで機械を管理できるようになり、生産性が上がっています。工場がきれいになると物を大切にする気持ちが芽生えます。道具や機械のメンテナンスをこまめに行うようになり故障も減りました。

既存の工場に設置されている送風機の修理事業を推進

近年は、生産拠点を海外に置く企業が増えており、国内での工場新設は減少しています。ただ国内でも既存の工場が多数操業しているので、今後はそれらに設置されている送風機の修理事業に力を入れていきたいと考えています。自社製品はもちろん、他社製品でも修理は可能です。送風機を製作した会社そのものがなくなってしまっ、困っている工場もあります。修理が新規受注の呼び水になることも期待できます。

加工部門は、特殊車両の部品を多く手がけてきましたが、送風機製造の技術を生かし回転する部品の加工を強化していく予定です。

昨年は「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展2016」に出展しました。ビジネスマッチングがメインでしたので、具体的な商談ができるなど収穫がありました。情報収集も兼ねて埼玉県や東京都の展示会にも出展しています。代々受け継いできた技術に加え、こうしたネットワークを活用しながら発展を目指していきたいと思います。



財団メニューの紹介

企業に専門家が訪問してあらゆる課題を解決します。
【専門家派遣】

専門家が実際に工場や店舗などに訪問し、窓口相談では対応できない専門的な課題や長期の現場指導を行い、その課題解決に向けたアドバイスをを行います。
〈利用にあたって〉
事業者の皆様には派遣費用の1/3をご負担いただきます。
(1回あたり3時間程度 10,300円)
※創業前、創業後5年未満の方には年2回まで負担金免除制度がございます。



《お問合せ先》
支援・金融課 経営支援チーム
TEL.048-851-6652



▲代表取締役 山崎 智生 氏

株式会社 タイネツ プロフィール

【所在地】さいたま市桜区道場709-24 浦和工業団地内
【創業年】1919年
【事業内容】送風機的设计・製作・修理メンテナンス、機械部品・鋳物品・鍛造品・カーボン製品等の加工
【TEL】048-854-3381
【URL】<http://www.tainetsu.co.jp/>

高い技術力で社会に貢献できる 人材採用と育成に取り組む

株式会社 サンテック

代表取締役 板垣 幸一 氏

株式会社サンテックは、組み込み系ソフトウェア開発で培った技術力を強みとし、現在ではWeb・オープン系業務システムの開発、iOS/Androidのアプリケーションの開発など、幅広いITサービスを提供しています。その技術は自動販売機やスーパーの冷蔵ケース、スマホなど私たちの身近なところで大活躍。技術力をより高めるために、人材採用と育成の強化に取り組んでいます。

組み込み系ソフトウェアの スペシャリスト集団

当社は1989年、自動販売機用制御ソフトウェアなど組み込み系ソフトウェアの開発力強化のために、大手電機メーカーと独立系のソフトウェア企業により設立されました。当時はバブル期で、メーカーの技術者が不足していたことがきっかけです。自動販売機にお金を入れると入れた額が表示され、ボタンを押すと冷たい（あるいは温かい）商品が出てきます。そうした金銭処理、冷却（加熱）、商品搬出などの仕組みを司るのが制御ソフトです。限られたハードウェア環境内での制御、処理時間、メモリ制約を考慮した設計など、高度な技術が必要とします。自動販売機からの展開として、工場のシステム開発なども手がけてきました。

経営面では、創業5年目にメーカーの子会社になり、群馬事業所開設、機械設計事業などを行いましたが、2008年にメーカーが経営危機に陥ったためMBOを実施し独立しました。独立が決まった後にリーマンショックが起き、仕事が激減し大変でしたが、関係者の協力でなんとか乗り切ることができました。



▲若手社員で開発にあたっている、高齢者見守りサービス「みまサポ」



現在は、組み込み系ソフト開発を始め、Web・オープン系の業務システム開発、スマートフォンのアプリケーション開発、技術者派遣などを行っています。

人材採用と育成が課題 理系、文系を問わずに採用

現在当社では、人材採用や若い技術者の育成などの課題を抱えています。採用は新卒中心ですが、大手企業の採用が増加傾向にあり学生も大手志向なため、思うように人材を確保できません。採用にあたってはコミュニケーション力も重視しています。技術者は専門知識があればいいと思われるかもしれませんが、ソフトの開発はチームで行うことが多いのでチームワークのためのコミュニケーション力が必要です。1人で担当する案件の場合でも、営業担当者やお客様とのやりとりは欠かせません。技術者派遣や納品時に取引先で対応することもあります。

入社後2カ月は、厚生労働省のキャリア形成促進助成金を利用し外部の技術者研修へ参加、IT技術者としての基礎を身に付けてもらいます。IT技術の世界は日進月歩なので、勉強を怠ると取り残されてしまいます。社員には自主勉



▲社内開発風景

強のための資料提供や資格手当の支給などを行い、スキル向上をサポートしています。

昨年から、若手社員を中心にプロジェクトを組み、親会社リバティ・イノベーションが提供する高齢者見守りサービスの開発にあたっています。また、来年度からは社内でビジネスコンテストを実施する予定です。

若手社員にとって働き甲斐の ある職場を目指し変革中

さいたま市産業創造財団との関わりは、**BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展** 2016からです。財団からお声がけいただき、大手企業に技術提案をさせていただきました。創業して約30年経過している分年齢の高い技術者が多いので、若い技術者へ業務ナレッジやノウハウの伝承も図りたいのですが、経験豊富な中堅社員が技術者派遣で不在のことが多く、タイミングが合わないという問題があります。また、若手社員が働き甲斐を感じられるよう、キャリアパスも定義し直したいと思っています。

今後も長く事業を継続していくためには、内部の体制をしっかりと整えなければなりません。財団の支援も活用し問題解決を図りながら、社員に満足してもらえる会社になることが理想です。



▲厚生労働省認定
技術者研修参加の盾

▲BIZ SAITAMA 2016出展



▲彩の国ビジネスアリーナ2013出展

財団メニューの紹介

国内外の難しい課題にチャレンジ！ 【BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展】

「医療・ヘルスケア」、「環境・エネルギー」、「防災」という、さいたま市の重点施策に基いた成長性の高い産業分野にテーマを絞って課題解決を目指す国内外の大手企業等のニーズを公開し、これにチャレンジする企業とのビジネスマッチングを行い、新事業の展開及び成長を支援します。

《お問合せ先》
支援・金融課
イノベーション創出チーム
TEL.048-851-6652



代表取締役 板垣 幸一 氏

株式会社 サンテック プロフィール

【所在地】さいたま市浦和区高砂3-2-10 草野高砂ビル4F
【設立年月】1989年6月
【事業内容】制御ソフトウェア、制御システムハードウェアの開発・設計、アプリケーションソフトウェアの開発・設計、インターネット関連サービス運営・販売、コンピュータ関連機器販売、技術者派遣
【TEL】048-824-3410
【URL】<http://www.santecnet.co.jp/>

「きれいを形にして再生する」をミッションに掲げる4代目社長の新たな挑戦

清香 株式会社(つるやクリーニング)

代表取締役 榎本 香代子 氏

浦和の中心部に店を構えるつるやクリーニングは、創業85年の老舗です。4代目の榎本氏は「【衣類リサイクルクリーニング】つるやクリーニング店による衣類リユース・リサイクル循環事業」というプランで、さいたま市ニュービジネス大賞2015「コミュニティビジネス賞」を受賞しました。新業態で地域環境への貢献とクリーニング業界の活性化を目指しています。



異業種から思いがけず転身 試行錯誤を続けながら前進

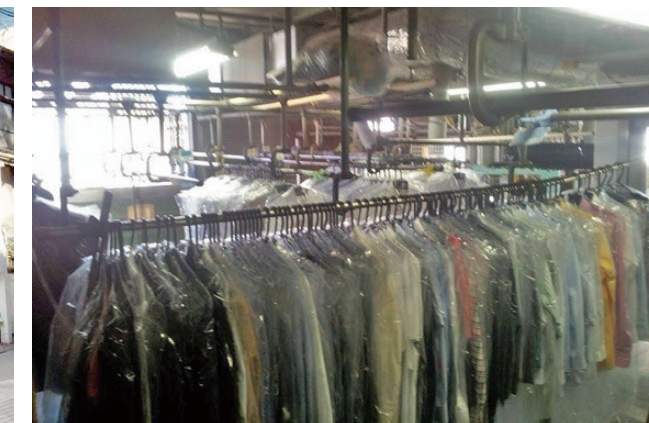
つるやクリーニングは、1932年に祖父が創業し、私で4代目になります。以前は全体の仕事をしており、家業を継ぐ意思はありませんでした。しかし2005年に父が亡くなり、身内が継続しないと廃業になってしまうと実感。約1年間それまでの仕事のかたわら経営に携わり、検討を重ねた上で夫とともに引き継ぐことを決意しました。

夫婦とも全くの畑違いで、入社当時はクリーニングのことも経営のことも不案内です。父の右腕だった工場長に指導を仰ぎ、一つひとつ試行錯誤しながら進んできました。

祖父や父から直接教えるは受けていませんが、衣服に対する向き合い方は受け継いでいるつもりです。それは「衣服はお客様の分身」という考え方。服にはお客様の体型や着方が表れます。クリーニングによってできたシワは「消してもいいシワ」ですが、着用による服の「シワ」としての皺まで消してしまうと、着心地や生地の風合いが悪くなってしまいます。このようなとき祖父や父だったらどうしただろう。彼らの性格や人間性を想像しながら、日々服に向き合っています。



▲つるやクリーニング本店



▲工場内の様子

生き残りを図り新事業を展開 SNB受賞で経営者意識も高まる

クリーニング市場は年々縮小しており、競争は激化しています。大手の攻勢にも負けず個人店が生き残っていくには、ブランディングによる価値創造が不可欠です。当社は経営理念「きれいを形にして、再生する」および、それを達成させるためのミッション「つるやクリーニングは常に市場のニーズを受け止め発信し、循環させることで社会向上を目指します」を掲げ、クリーニング業と並行しリサイクル事業を展開することにしました。その一環として不用になった衣類の引き取りサービスを手がけ始めたとき、さいたま市ニュービジネス大賞(以下SNB)への応募を勧められたのです。エントリーを通して事業計画をブラッシュアップできることと、以前さいたま市コミュニティビジネス講座でSNB受賞者の講演を聞き感銘を受けていたことが応募の決め手です。

エントリーしたプランは、衣類リユース・リサイクル循環事業。店頭でお客様から不用な衣類を回収し、クリーニングをして販売するというものです。単一の店舗でこのような

事業を行うのは業界初で、始めた当初はなかなか理解が得られなかったのですが、受賞をきっかけに誰が見てもわかりやすい形にできました。個人的には、シンポジウムや講演会で登壇する機会が増え、経営者としての意識が高まりました。ファイナリストの方々とつながりができ、ビジネス上の刺激をいただいています。

専門家派遣で体制を整え 次のステージを目指す

SNB受賞後もさいたま市産業創造財団の支援メニューを活用し、変革を続けています。昨年は専門家派遣を活用し、営業、財務、組織体制などを総合的に見直しました。そしてアドバイスを受け、先代が開設した支店を閉店することに。残すのが務めだと思っていたので厳しい選択でしたが、将来のビジョンに向け舵を切るために、業務を本店に集約させることにしました。

リサイクル事業も衣類を集める仕組み作りができてきたので、新たに買い取りサービスをスタートさせました。今後は、この流れを定着させていきたいと思っています。将来的には、協力企業と連携して、中古衣料を海外に輸出するなど、大きな循環サイクルを作るのが夢です。



▲さいたま市ニュービジネス大賞2015最終選考会でのプレゼンの様子

財団メニューの紹介

あなたのプランでさいたま市を元気に！ 【さいたま市ニュービジネス大賞】

さいたま市の経済が活性化するような新事業を発掘するビジネスプランコンテストです。優秀なビジネスプランを表彰するとともに事業化に向けて支援していきます。応募者には、専門家などによるビジネスプランのブラッシュアップやプレゼンテーション支援など、手厚いサポートが受けられるメリットがあります。 ※応募要件、応募方法など詳細は財団ホームページをご覧ください。

●清香株は、2015年度同賞において「コミュニティビジネス賞」受賞

「お問合せ先」
支援・金融課 経営支援チーム
TEL.048-851-6652



▲代表取締役 榎本 香代子 氏

清香 株式会社(つるやクリーニング) プロフィール

【所在地】さいたま市浦和区仲町2-17-7
【創業年】1932年
【事業内容】クリーニング・衣類リサイクル
【TEL】048-822-5781
【URL】<http://tsuruyacleaning.co.jp>

江戸時代からの伝統を継承している人形づくり

株式会社 東 玉 (とうぎょく)

取締役副社長 戸塚 大介 氏

伝統や老舗の名の上にあぐらをかかず、常に新しいことにチャレンジします。そんな精神で江戸時代の創業以来「人形のまち岩槻」をリードしてきた株式会社東玉。東武野田線の岩槻駅に降り立つと、対面に掲げられた人形の看板が目を引きまします。次なるチャレンジは営業戦略としてのIT活用。若手社員を起用し、タイムリーで人間味あふれる情報発信でお客様との距離を縮めます。



趣味の人形作りからスタート 岩槻城主より作号を賜る

東玉の歴史は、江戸時代にさかのぼります。先祖は代々漢方医で、江戸後期の嘉永年間、初代戸塚隆軒は岩槻城主の御殿医を務めていました。隆軒は人形作りが趣味で、作品を城主に献上した際その才能を認められて「東の王」の作号を賜り、「王」では畏れ多いということで「玉」の字にしたと伝えられています。本格的に人形の製造、卸を始めたのは大正3年からです。昭和の高度経済成長期に節句人形の需要が伸び、昭和39年に株式会社化。岩槻をはじめ宇都宮、藤沢などに店を出すなど事業を拡大していきました。

いつの時代も伝統を継承しつつ 現代感覚と独創性を追求

創業から160年以上経ちますが、いつの時代も「伝統の中に現代感覚を」「伝統の中の独創性」をモットーに、伝統を大切にしながら新しい取り組みを続けています。株式会社となった年には、木目込み人形作家の第一人者である鈴木賢一師を主任作家として工房に迎え入れました。鈴木師は東玉だけでなく岩槻の職人にも指導して、岩槻全体の人形の質が向上しました。

昭和51年には七段飾りの雛人形の五人囃子を七人雅楽にした「大宮人飾り」を発表。節句人形コンクールで内閣総理大臣賞を受賞し、販売の追い風となりました。平成13年からは、毎年さいたまスーパーアリーナにて、埼玉県内の人形関係の業者に呼びかけ、ひな人形・五月人形チャリティフェアを開催しています。

近年は少子化や住宅事情、生活スタイルの変化から、七段飾りの需要が減っており、コンパクトな三段飾りや親王飾りが人気です。当社では、飾り台の敷物・緋毛氈（ひもう

せん）の代わりに華やかな柄の敷物を創作し、人形の衣装や屏風とトータルコーディネートしたシリーズや、女流作家による現代感覚あふれる作品、飾り台がそのまま収納箱になるセットなど、時代のニーズに合わせた新作を毎年多数そろえています。

ご購入いただいたお客様には、人形に添えるためのメッセージカードや店内の写真スタジオでの記念撮影（お子さまの1歳のお誕生日）などのサービスもあり好評です。

専門家派遣制度でIT研修 ネットを活用し集客増を図る

集客方法も時代に合わせて変化しています。以前はチラシ広告やDMが中心でしたが、最近はホームページをご覧になってご来店されるお客様が増えているため、インターネットを使った情報発信に力を入れています。平成27年度と平成28年度はその手始めとして、さいたま市産業創造財団の専門家派遣制度を利用しIT活用研修を実施。ホームページ更新のノウハウからブログソフトの基本操作、商品の撮影方法、情報発信の方法、SNS活用法、SEO対策など実践に即した内容で大変参考になりました。研修後は若手



▲昭和40年当時の総本店

社員をIT担当に据え、ホームページの一部を直接更新できるようにしたほか、ブログとFacebookのページも開設し積極的に情報発信をしています。

私自身はさいたまベンチャー社長塾を受講いたしました。当社は、ベンチャー企業ではありませんが、「未来の社長を育てる」というコンセプトに合致するということで学ばせていただきました。先輩の経営手法や経営判断の考え方などを直接聞くことができ、非常に刺激を受けました。

人形の位置づけを再確認し 新しい文化の構築を目指す

今後は人形業界全体として、人形の位置づけや時代への適合を再確認する必要があると考えています。伝統を守ることとは、同じことをやり続けるのではなく、その時代に合った形や方法を加えていながら継承していくということだと思います。人形の事業は、季節性や文化と密接に関わっているため変革のタイミングが難しいのですが、文化を再構築するぐらいの意気込みで取り組まなければなりません。先人が培ってきたことを大切にしながら若い人材を育て、次世代の人形文化を構築していくのが目標です。



▲昭和63年、東玉総本店をご視察される美智子妃殿下



▲名匠 鈴木賢一師の木目込人形の製作(写真提供:YUYA HOSHINO)

財団メニューの紹介

将来のさいたま経済界を牽引する リーディングカンパニーへ 【さいたまベンチャー社長塾】

優れたビジネスモデルを有する若手経営者や後継者を募集し、将来さいたま市のリーディングカンパニーへと成長していただくことを目的とした経営塾です。
※応募要件・応募方法、入塾費用など、ご不明な点はお気軽にお問合せください。

«お問合せ先»
支援・金融課 経営支援チーム
TEL.048-851-6652



▲取締役副社長 戸塚 大介 氏

株式会社 東玉 プロフィール

【所在地】さいたま市岩槻区本町3丁目2番32号

【創業年】江戸・嘉永5年(1852年)

【事業内容】ひな人形、五月人形、日本人形、羽子板、破魔弓の企画・製作及び販売。和風小物等の販売、人形の博物館・人形学院の運営、不動産の賃貸管理

【TEL】048-756-1111

【URL】<http://www.tougyoku.com/>

置き薬の魅力は 人間味のある交流から

株式会社 イワセ薬品

代表取締役 岩瀬 修一 氏

株式会社イワセ薬品は、家庭や企業などに薬を配置し後日使った分を精算する「置き薬（配置薬販売業）」の会社です。「他業種の方とお話したときに『子どもの頃紙風船が楽しみでした。今も続いているのですね』と懐かしがられたことがあります」と話す岩瀬社長。古き良き時代に同様の温かいつながりを大切にしながら、時代に合わせた事業展開を進めています。



江戸時代から続く業態 富山出身の祖父が創業

「越中富山の薬売り」の通称で知られる富山の置き薬は、江戸時代から続く古い商法です。富山藩の2代目藩主前田正甫が、江戸城で腹痛を起こした福島岩代三春城主に胃腸薬の反魂丹を飲ませたのが始まりといわれています。

当社は、売薬と漁業で栄えた富山県富山市の四方出身の祖父が興しました。最初は富山から関東地方などに行商に出ていましたが、次第に単身赴任のような形になり、1931年に深谷に拠点を移し「康生堂薬房」を開設したのです。その後、熊谷、浦和に営業所を開き、1955年に父が浦和でイワセ薬品として独立しました。

私は以前は、ビデオエンジニアでTV番組の撮影をしていましたが、父の病気を機に入社し1990年に代表取締役に就任しました。入社してまず経験させられたのが「売る苦労」です。技術者で商売も経営もまったく経験がなかった私に厳しい父が与えたのは、先輩が当たって砕けてきた難しいお客様ばかり。訪問するたびにお客様から厳しいお言葉が飛び、訪問恐怖症になりながら仕事を覚えていきました。

お客様のために。 「先用後利」の精神が置き薬の魅力

置き薬は、人と人とのつながりで成り立ちます。信頼関係がなければ、お客様はたとえ商品が他社より安かったとしても玄関を開けてはくれません。1軒1軒訪問し薬を置かせていただき、使った分だけ代金をいただく。そこには前田正甫が唱えた「先用後利」の精神があります。「先用後利」とは「用を先に利を後にせよ」、つまりお客様のお役に立つことが第一で利益は二の次にしなさいという意味です。

お客様がうれしそうに昔の話をしてくださることがあります。祖父が小さかった私を営業に連れて行ったときの話や、父がよく昼食をごちそうになり昼寝までしていったなどという話もあります。おらかな時代背景もあると思いますが、時代は変わっても人間味のある交流が置き薬の魅力であり、受け継いでいくべきものだと思います。

一方、取扱う商品はニーズに合わせて変えていくべきものです。今の時代における置き薬は、従来の軽治療に加え健康維持の役割も担うようになり、取扱う商品も健康食品やサプリメントが増えています。当社でも同業他社と会社を設立

し、効果・効用の高い入浴剤などのオリジナル商品を開発して原価を下げるなど生き残りを図っています。現在は、ペットにもお金をかける時代です。これからは、ペット用サプリメントも扱うようになるかもしれません。

金融機関の勧めで財団の支援を利用 販促や人事制度について相談

会社を引き継ぎ、新たに営業所を開設するなど順調に業績は伸びてまいりましたが、先代から続く就業規則等の運用について悩みを抱えていました。そんな時に、取引先の金融機関に金融機関連携成長支援事業での専門家派遣を勧められました。これまで制度を利用したのは2回です。就業規則、賃金規程変更、販売促進関係などの相談に対応していただきました。就業規則は、代表就任時にひな形を元に自分で作っていましたが、会社の実情や制度の変化に則ったものにする必要がありました。

現在の悩みは、人材確保と育成です。置き薬の仕事は、お客様にまた来てほしい、会ってうれしいと思っていただくことが重要です。人柄や相性の面が大きく、商品知識の多寡や資格試験の成績だけで適性が図れるものではありません。これまでは、若手の経験者にこだわっていましたが、意欲と適性があればシニアの活用も検討していきたいと思っています。



▲お客様訪問時の様子



▲社員研修の様子

財団メニューの紹介

金融機関と連携し、企業の課題解決・成長に繋がる支援を実施します。
【金融機関連携成長支援事業】

金融機関より紹介された事業者に対して、財団の専門家を派遣し、事業の成長や課題解決に向け、財団と金融機関が一体となって支援を実施します。
※まずはお取引のある金融機関にご相談ください。
(一部お取り扱いが出来ない金融機関もございます。)

「お問合せ先」
支援・金融課 経営支援チーム
TEL.048-851-6695



▲代表取締役 岩瀬 修一 氏

株式会社 イワセ薬品 プロフィール

【所在地】さいたま市浦和区常盤3-13-6

【創業年】1931年

【事業内容】医薬品、医薬部外品、健康食品、清涼飲料水、化粧品等の販売

【TEL】048-831-1193

【URL】http://www.pillcase.co.jp



▲常備薬の保管用袋(昭和初期)



▲お客様訪問時の様子



手厚い福利厚生が 社員の定着・採用に有益

株式会社 木下製館

代表取締役 木下 信次 氏

株式会社木下製館は、「私たちは、あんこと共にお客様に感動をお届けいたします」を経営理念に掲げ、安全と品質にこだわり館製品を製造しています。ボタン1つで豆の袋を積んだラックが下りてくる倉庫の中は産地の北海道と同じ温度設定。クリーンな工場には、小豆が煮える優しいにおいが漂います。福利厚生は、ワークジョイさいたまを活用。レジャー券が子育て世代に人気です。



チャレンジ精神と製品への こだわりで生き残る

皆さんは、さいたま市内に製館業者が何軒あるかご存知でしょうか。製館業者は約30年前は全国に約2000社ありましたが今は約600社、埼玉県内には14社、さいたま市内には当社しかありません。

当社は、昭和初期に祖父が長野で創業し、その後大宮に移転しました。和菓子店、パン店、飲食店など業務用の館製品をOEM生産しています。これまで続けてこられたのは、チャレンジ精神と、製品への強いこだわりがあったからだと思います。当社は、以前から工場に最新の設備を揃えていました。大手企業も含め、全国の業者が見学に来たほどです。また、いずれ館だけでは立ち行かなくなると見通し、羊羹の製造も始めました。館はリードタイムが1日程度と短く、発注量も季節によって波がありますが、羊羹は賞味期限が長く生産計画を立てやすいので生産体制のブレが減りました。現在、生産の内訳は小豆を煮て濾しただけの生館が3割、加糖館が4割、羊羹が3割となっています。

製品もお客様からの発注を待つだけではなく、TVで話題になっている菓子や地方に出かけたときに気になった菓子などをリサーチし、新製品の提案も行っています。

経営理念

私たちは、あんこと共にお客様に感動をお届けいたします。

- 一、私たちは、お客様に笑顔と感動をお届けする提案型企業を目指します。
- 二、私たちは、お客様の事を第一に考え、いつも感謝と謙虚な気持ちで商品を作ります。
- 三、私たちは、社員を大切な家族と思い、社員とその家族の幸せを追求し、社員と共に成長いたします。

原料保管から製品出荷まで 安全、品質管理を徹底

昔は、おいしければ買っていただけましたが、今はおいしさ以前に安全第一です。小豆を保管する倉庫、館を製造する工場ともに最新の設備を導入し、原料の保管から製造、包装、出荷まで徹底した安全、品質管理を行っています。倉庫では、産地の北海道と同じ温度で小豆を保管しています。工場にはクリーンな空気を取り込み、機器の洗浄も徹底しています。微生物検査は以前は、定期的に専門の会社に委託していましたが、2000年からは専門スタッフを置き、全商品全アイテムについて自社で検査を実施できるようになりました。

和菓子は、日本が誇る伝統文化であり、受け継いでいくべきものです。子どもたちにも本物の味を知ってほしいと思い、さいたま市内の小学校で行われている親子おまんじゅう教室に協力しています。

和菓子の食べ方も時代によって変わってきています。東日本大震災以降、羊羹が非常食として見直されています。マラソンや登山のときの携帯食にも適しています。また、味はそのままでカロリーを抑えた羊羹も考えています。これからもチャレンジを続け、安全でおいしい製品をお届けしていきたいと思います。



▲立体倉庫



▲生館

財団主催のセミナーや ワークジョイさいたまを活用

2006年に埼玉県の経営革新計画の承認を受けたのですが、申請のためにさいたま市産業創造財団主催のセミナーに参加し大変役立ちました。提出書類のうち、貸借対照表など財務関係の書類は作り慣れていましたが、事業計画書が大きな壁でした。頭の中にビジョンはあるものの、伝え方がうまく表現できず困っていたところ、セミナーのグループワークで中小企業診断士の方が計画書に入れるべきデータや情報の探し方などを丁寧にアドバイスしてくださり、無事に仕上げることができました。このとき学んだことを活かし、2016年には「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」および「さいたま市CSRチャレンジ企業」の申請も行いました。

財団のサービスではワークジョイさいたまを最も利用しています。中小企業では社員の福利厚生に力を入れたいけども、なかなかできないので、とてもありがたいと思っています。小さい子どもがいる社員には、レジャー施設の割引利用や出産祝、入学祝などが特に喜ばれています。



▲エアージャワー



▲各種羊羹



▲生館製造ライン

財団メニューの紹介

会社の福利厚生は、ワークジョイさいたまに
おまかせください！

【ワークジョイさいたま】

1 社単独では実施が難しい福利厚生制度をワンコインでアウトソーシング。社員のモチベーション向上及びワークライフバランスを実現し、人材の定着率アップが図れます。

- 入会金：1人500円 月会費：1人500円
 - 主なサービス：慶弔給付、東京ディズニーリゾートをはじめとする人気レジャー施設の割引利用、人間ドック受診料一部補助（最大4,000円）、映画鑑賞券、ジェフグルメカード等、金券類の割引販売や宿泊補助 他
- ※詳細は裏表紙をご覧ください。

《お問合せ先》

勤労者福祉サービスセンター
TEL.048-840-1133



▲代表取締役 木下 信次 氏

株式会社 木下製館 プロフィール

【所在地】さいたま市大宮区桜木町4-431-1

【創業年】1931年

【事業内容】製館、羊羹製造卸

【TEL】048-642-3953

【URL】<http://www.kinoshitaseian.com/>

平成28年度 活動報告②

さいたまヨーロッパ野菜研究会

当財団が事務局を務める「さいたまヨーロッパ野菜研究会」の
当財団の取組みがイノベーションネットアワード2017で表彰されました。



スマートモノづくり応援隊

経済産業省による製造業をはじめとする企業の生産性向上や現場改善を促進することを
目的とした取組み（スマートモノづくり応援隊）で、当財団が採択されました。

競争的資金獲得支援実績

小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金をはじめとする
各種補助金の申請サポートをさせていただき、32件採択されました。

【当財団がサポートさせていただいた主な補助金】

- 小規模事業者持続化補助金
- ものづくり・商業・サービス革新補助金
- 追加実証・用途開拓研究支援事業
- 地域中核企業創出・支援事業
- 革新的ものづくり産業創出連携促進事業
- 埼玉県新技術・製品化開発補助金
- 埼玉県次世代新技術・新製品開発支援事業費補助金
- 戦略的基盤技術高度化支援事業

(平成29年2月1日現在)

窓口相談・融資相談実績

- 創業や資金調達、補助金申請などの各種相談事業を実施し、1,000件を超える相談を行いました。
- さいたま市の融資制度のあつ旋窓口として、年末緊急融資等の申込受付を行いました。

企業様が抱える課題や悩み解決、事業成長に向けて相談事業だけでなく
専門家派遣などの各種メニューをご用意しておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

従業員の笑顔のため

会社の福利厚生は



ワークジョイさいたまにおまかせください
1人1ヵ月500円で充実の福利厚生が利用できます!



【レジャー施設】

東京ディズニーリゾート。利用券(1,000円×4枚まで無料)
東武動物公園フリーパス 1,500円 など

【チケットあつ旋】

ジェフグルメカード(5,000円分) → 4,500円
映画鑑賞券 → 1,300円 など

【人間ドック・脳ドック】

受診料補助
→ 4,000円

【宿泊補助】

提携旅行会社で申込した場合、3,000円補助
(日帰りバス旅行は2,000円補助)

【慶弔給付】

結婚・出産・勤続祝い金、
傷病見舞金 など

【お問合せ先】 勤労者福祉サービスセンター
(愛称:ワークジョイさいたま)

TEL. 048-840-1133 FAX. 048-859-1711

E-mail: workjoy@sozo-saitama.or.jp

<http://www.sozo-saitama.or.jp/workjoy/>

ワークジョイさいたま

検索

Next Stage <2017年(平成29年)3月発行> No.32



公益財団法人 さいたま市産業創造財団

TEL 048-851-6652 FAX 048-851-6653

〒338-0002 さいたま市中央区下落合5-4-3さいたま市産業文化センター4階

URL <http://www.sozo-saitama.or.jp> E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

産学連携支援センター埼玉

TEL 048-857-3901 FAX 048-857-3921

〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2新都心ビジネス交流プラザ3階

